



書真

みづのき

書けりも即しとく吉野の餅 破り 千高

短子帰る一谷中乃を此より一丸

書初一筆もやあゆの夢所 李冠

ワラ草畑消りまのそひれ矢一篇 舟舟

言とけの夢中一風を色 整り 亀柳

あまの夢中よふくハ 桜 うら 笑花

梅さくやまの言原のぬもく音 古流

かみ川一泉よみ鉄のこて 楚水

二百日の夏マきあけ人 肥乃 穴 着水



夢中一筆の子も歌を忘るけく 桐茂

散杖や箱もなうとす 兼舟

おまの筆かき

